

NO 4	横浜市港北区箕輪町開発計画		野村不動産株式会社 東京ガス株式会社 株式会社関電エネルギーソリューション	
提案概要	大規模分譲マンションと地域交流施設、食品スーパーなどの複合型開発プロジェクト。燃料電池、ヒートポンプ給湯機、大型蓄電池等によるエネルギー利用最適化に加え、災害時の電気・熱・水の確保、IoT活用によって、安心して健康で快適なまちの実現を目指す。			
事業概要	部門	新築	建物種別	住宅(共同住宅)
	建物名称	(仮称)港北区箕輪町計画	所在地	神奈川県横浜市港北区
	用途	共同住宅	延床面積	124,600 m ²
	設計者	三井住友建設株式会社	施工者	三井住友建設株式会社
	事業期間	平成29年度～平成34年度		

概評	共同住宅を中心とするエリア全体で、電力・ガスのベストミックスと各種機器の最適制御によって、エネルギー利用の最適化や災害時対応を図る提案は、今後の大型住宅地開発のモデルになり得る先導的な取り組みと評価した。
----	--

参考図

The diagram shows a site plan for the Aino-machi development project. It is divided into three main zones: A (AI区), B (BI区), and C (CI区). Zone A includes a school (小学校) and a park (ウェルネスパーク). Zone B includes a gate area (ゲート広場), a shop (雑貨店), a cafe (カフェ), and a residential building (福祉型住宅). Zone C includes a restaurant (レストラン) and a high-rise building (タワマン). The plan also shows various streets, including a main road (沿道市街地) and a residential street (住宅市街地). A central area is labeled as a residential and industrial co-existence area (住工共存市街地). The plan is surrounded by other urban areas like the Aino-machi residential area (箕輪町住宅市街地) and the Aino-machi residential area (沿道市街地).

省CO₂手法(1)【課題1】
躯体等の環境負荷低減

- ・トリプルLow-Eガラス
- ・グリーンインフラ
- ・雨水貯留浸透基盤材
- ・ビオトープ
- ・生態系保全
- ・環境学習

省CO₂手法(3)【課題2】
災害時の電気・熱・水の確保

- ・太陽光+蓄電池
- ・電源自立型GHP
- ・V2X充放電器
- ・貯湯タンク(エネファーム・エコエート)
- ・防災広場、防災備蓄倉庫
- ・スラット・免震構造(100年住宅)
- ・高耐震ブロック化
- ・電気・ガスハイブリッド供給

省CO₂手法(2)【課題1】
エネファーム逆潮流電力のエリア内融通

- ・エリア一括受電
- ・エリアエネルギーマネジメントシステム(AEMS)
- ・逆潮流対応新型エネファーム
- ・遠隔制御対応新型エコエート
- ・エネファーム逆潮流運転制御
- ・蓄電池充放電制御
- ・エコエート焚き上げ時間制御

省CO₂手法(4)【課題1】
エネルギー・健康情報の統合

- ・IoT活用による情報統合(エネルギー・健康・モビリティ情報等)
- ・スマホアプリ
- ・フィットネス健康増進プログラム
- ・帰宅困難者対策

網島サスティナブルスマートタウン(網島SST)